



# 学校便り 2月号

～笑顔の大切さ、人と人とのつながり、多数の生徒会選挙立候補者～

校長

子どもたちと日々を過ごす中で、私たちが大切にしている思いがあります。それは、「学校は楽しいところ」ということです。ここで言う“楽しさ”には、笑ったり喜んだりするだけでなく、「真剣に、夢中になって取り組むこと」も含まれます。課題に没頭しているときや、集中して時間を忘れる瞬間はとても心地よいものであり、子どもたちが成長している証ともいえます。こうした「夢中になる姿」や「自分の力を発揮したいという思い」は、最近の生徒たちの活動にもあらわれています。

先日の生徒会選挙では、立候補者が16名と過去最多となりました。これまで多くの学校で教育活動に携わってきましたが、16名もの生徒が立候補するというのは初めての経験です。「学校をもっとよくしたい」という思いを胸に、堂々と立候補する姿に、子どもたちの成長と意欲を強く感じました。同時に、自信をもって手を挙げることができる“安心のある学校”になっていることを、とても誇らしく、うれしく感じています。

そのような挑戦の背景には、「笑顔の大切さ」があります。笑顔は子どもの心をほぐし、不安や緊張をやわらげ、次の一步を踏み出す勇気になります。ここで一つ、教室でのエピソードを紹介します。活動の切り替えが苦手な、気持ちが高ぶると落ち着かなくなる生徒がいました。ある日、音楽の時間に移るとき、不安定になりその場から動けなくなりました。担任は無理に声をかけず、少し離れた場所から穏やかに微笑み、太鼓の絵カードを見せながら「今日は君の好きな太鼓があるよ」と伝えました。その笑顔に安心したのか、しばらくして自分から動き始め、太鼓を叩くことができました。活動後には「できた!」と大きな笑顔がはじけました。

このエピソードは、私たちが大切にしている「笑顔」や温かな関わりが、子どもの心に寄り添い、前向きな力を生み出すことを教えてくれます。特別支援学校では、さまざまな人とのつながりの中で子どもたちが育ちます。安心できる大人の存在、励まし合う友だち、見守り応援して下さる御家庭。こうした「笑顔で人と人がつながる」関係性こそが、子どもたちを支える最も大きな力です。そのつながりがあるからこそ、教室には「笑顔があふれる」雰囲気が生まれます。そしてその笑顔が、子どもたちに「生きていていいんだ」「ここにいていいんだ」という安心感を届けてくれます。

しかし、保護者の皆さまも日々感じておられるように、世の中には厳しい面があります。例えば、人と違う行動や特性が誤解され、心ない言葉をかけられてしまうことがあったり、自分のペースが尊重されず急かされてしまう場面があったり、比べなくてもよいところで比べられてしまったり…。こうした現実には、小さな心にとって大きな負担になることがあります。

だからこそ、学校は「安心して挑戦できる場所」であり続けたい——その思いで、私たちは日々の教育活動を行っています。笑顔やつながりを大切にした取り組みは、やがて子どもたちの力となり、「生きることは楽しい」と感じられる未来につながると信じています。これからも学校と家庭・地域が手を取り合い、子どもたちが輝ける日々をつくっていきましょう。どうぞよろしくお願いたします。

## <生活指導部より>

### **生徒会選挙を実施しました**

1月16日(金)に「主権者教育」の一環として、次期生徒会役員の生徒会選挙を行いました。当日は、東京都選挙管理委員会の職員の方と、西東京市選挙管理委員会の職員の方の御協力をいただき、3年生の生徒会役員、3年生の代表委員(各学級の代表)、3年生の生徒有志で「田無特別支援学校の選挙管理委員会」を設立して、生徒会選挙を運営しました。

今年度も、西東京市から選挙で使用する本物の投票箱や記入する机をお借りし、実際に行われている選挙と同じような形で行いました。

選挙当日の演説では、立候補者の皆さんは一生懸命考えた公約を発表し、推薦者は立候補者の良いところをあますところなく視聴者に伝えていました。また、投票する側の生徒の皆さんも、真剣な眼差しで、取り組んでいました。

### **主権者教育を進めています**

今回の取組みは、主権者教育の一環として行いました。平成28年に選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことにより、これまで以上に、生徒の皆さんが社会の課題を自分なりに考え、社会参加できる力を育むこと等が重要となります。生徒の皆さんが、生徒会選挙を経験したことを実際の選挙でも生かしてほしいと思っています。

#### 主権者教育とは・・・

単に政治の仕組みについて必要な知識を習得するのではなく、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一人として、主体的に担うことができる力を身に付ける教育を主権者教育と言います。

## <進路指導部より>

### **【就業体験・現場実習中のお願い】**

就業体験・現場実習に御協力いただきありがとうございます。実習中は緊急で保護者の方に御連絡する場合があります。学校や学校携帯からの電話がありましたら、出られるように御準備ください。また、着信に気付かれた際には、学校又は学校携帯2(進路指導部)(080-4051-7795)か、学校携帯3(080-4051-7794)まで折り返しをお願いします。なお、午後5時15分から翌日午前8時15分までは学校電話は留守番電話となりますので御承知おきください。

## <支援部より>

### **◆学校生活支援シート 更新に向けて**

1・2年生は、年度初めに作成した【学校生活支援シート】を次年度に向け更新します。3月に「更新のための調査」を実施します。そのため、今一度、御家庭で保存されているシートの目標、変更箇所(放課後等デイサービスの利用曜日、担当者、愛の手帳の度数 など)や追加すべき事柄などを御確認ください。3年生は「個別移行支援計画」に引き継がれます。

## 【1・2年生】

3月2日（月）「学校生活支援シート更新のための調査用紙」を配布します。

3月6日（金）「学校生活支援シート更新のための調査用紙」記入して担任へ御提出ください。

3月25日（水）「学校生活支援シート」に評価を入れて返却します。

学校生活支援ファイルで保管ください。

## 【3年生】

3月19日（木）「学校生活支援シート」に評価を入れて返却します。

「個別移行支援計画」に引き継がれます。学校生活支援ファイルで保管ください。

## <作業学習部より>

### ◆田無庁舎での販売

西東京市田無庁舎にて、1月14日（水）に1年生農園芸班が野菜の販売を、15日（木）には3年生ビジネスチャレンジ班（喫茶）が喫茶サービスを行いました。1年生の農園芸班は、初めての外部販売となりましたが、元気に声を出しながら、お客様に対応することができました。販売した野菜も大好評だったようです。3年生ビジネスチャレンジ班（喫茶）は、上級生らしく多くの注文にも落ち着いた喫茶接客サービスを行うことができました。こちらも大盛況で、地域の方々と販売をとおして交流を行いました。

